

校長室だより

とっても寒い日が続いています

1月下旬からとっても寒い日が続いています。今年はインフルエンザが流行しています。ご家庭でも検温等の健康管理、「早寝・早起き・朝ごはん」や手洗い等、規則正しい生活のご指導をお願いいたします。

楠小学校の子どもたちに目を向けると、朝の時間から運動場で、マラソン大会に向けて走ったり、おおなわとび大会に向けて学級で練習したりと、寒さに負けず元気いっぱいです。様子を見ていますと、

「去年の自分に勝ちたい」「クラスの新記録を目指している」など、目標に向かって努力している子が多いです。元気の源は、「やる気」にあるようです。



ダイコン収穫体験

2年生は、生活科の学習で野菜の栽培活動を行っています。ダイコンの栽培活動は、学校運営協議会で話し合わせ、地域の皆さんの協力で行われています。

9月に小さな種をまき、水やりや草引きを行い、間引きをしながら大切に大きく育てました。先月、収穫した時は、スーパーの袋に入りきらないサイズになっていました。子どもたちは、大喜びでした。学校運営協議会の皆さんのおかげで、今年も素晴らしい体験をすることができました。ありがとうございました。



「鬼は外 福は内」 節分のお話

節分とは本来、「季節を分ける」つまり季節が移り変わる節日を指し、立春・立夏・立秋・立冬それぞれの前日に、1年に4回あったものでした。日本では立春は1年のはじまりとして、とくに尊ばれたため、次第に節分といえば春の節分のみを指すようになっていったようです。室町時代以降は豆をまいて悪鬼を追い出す行事へと発展し、民間にも定着していったようです。立春に鬼払いをして悪いものを捨て、心と体をきれいにして、新春（正月）の神様を迎え、新しい年の準備をします。その鬼を払うために行うのが節分の豆まきになって今に伝わったようです。

「太巻きのお寿司を丸かぶり」の恵方巻は、スーパーやお店の広告でも目にします。今年の恵方は東北東のようです。

日本には、昔から伝わる文化がたくさんあります。その地域特有の文化もあります。ご家庭でも伝統文化を楽しんでください。